

公共施設

マネジメントの推進

「再編計画」「個別施設計画」を策定し推進

公共施設マネジメントとは、総合的かつ統括的な観点で、保有する公共施設等を最適に維持し、有効活用を図るため

〈行動計画〉

豊岡市公共施設等
総合管理計画
(2016.11月)

豊岡市公共施設再編計画
(2016.11月)

〈個別計画〉

- コミュニティセンター個別施設計画(2019.3月)
- 公営住宅等長寿命化計画(2019.3月)
- 体育施設等個別施設計画(2019.12月)
- 学校施設個別施設計画(2020.1月)
- 公園施設長寿命化計画(2020.3月)
- 橋梁長寿命化修繕計画(2020.3月)
- 公共施設個別施設計画(2021.3月)

の取組みを言います。

本市では、2014年から着手し、16年11月に多額の財政負担を抑え、施設サービスの水準を適切に維持し、施設保有量の最適化(総量縮減)を実行していくための計画として「豊岡市公共施設再編計画」を策定。同時に国の要請に基づいた「豊岡市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

その後、個別具体的な対応方針を定めた、学校施設や体育施設などの「個別施設計画」を順次策定し、20年度までには、全ての公共施設の「個別施設計画」の策定を完了しました。

市民との議論の場「地域デザイン懇談会」を開催

推進体制としては、2018年度に、庁内に「公共施設等マネジメント推進委員会」、19年度には「公共施設マネジメント推進室」を設置しました。
また、20年度には、市民の方と議論する場として地域デザイン懇談会を市内6地域で開催しました。

公共施設

マネジメント3原則

これまでと同じ水準で公共施設整備への投資を継続することが困難な財政状況の中で、次の3つの取組みにより市民ニーズ等を踏まえた施設機能の見直し・充実を図ります。

1 施設保有量の最適化(総量の縮減)を図る

施設の機能をできる限り維持しながら量を減らすことを前提として、役割等を終えた公共施設の速やかな廃止・処分等を実施するとともに、将来に必要な施設サービスの質と量を踏まえた規模の最適化や機能の複合化(多機能化)、用途の転換など、公共施設の再編による施設保有量の最適化を図ります。

2 計画的な保全により長寿命化を目指す

公共施設の老朽化対策を着実に推進するため、今後も保有していく施設については、不具合が発生してから修繕等を行う事後保全による対応を改め、定期的な点検・診断、修繕履歴等の把握・蓄積

といった基礎的な取組みを強化し、計画的な保全による長寿命化を図ります。

3 効率的・効果的な維持管理・運営を行う

業務内容の見直しにより施設サービスの質を維持・向上させていくとともに、日常的な維持管理・運営費用の削減を図ります。

また、施設の機能に応じて、市民、民間企業等の多様な主体との協働による維持管理・運営を促進するとともに、保有する不動産を生かした増収施策などの取組みを強化します。

〈これまでの取組事例〉

■複合化(多機能化)

各地域振興局の庁舎では、旧町時代の議場などの空きスペースをコミュニティセンターや図書館分館、子育てセンターなどに有効活用しています。

■ソフト化(民間移管)

機能としては必要だが、市が保有する必要のない施設については、民間事業者、地元自治会などに譲渡を行っています。

ポイント

次世代に負担と責任を先送りしないために

公共施設は、公共サービスを提供する手段であり、ハコモノ施設の維持そのものを目的としない

「あったほうがいい」

発想の転換

「本当に必要なもの(機能)を賢く使う」

※掲載している情報は編集時点(1月14日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

地域デザイン懇談会 市民の皆さんと「公共施設のこと」を話し合いました

2021年3月以降、旧市町単位を基本に順次設置した「地域デザイン懇談会」では、市民の皆さんと将来の公共施設のあり方について、これまで5~6回ワークショップを開催し、話し合ってきました。参加者の皆さんからの意見を一部紹介します。(詳しくは市ホームページをご覧ください)
また、各地域での意見を取りまとめた地域デザインプランを今年度中に作成する予定です。

【施設の見直しについて①】

- 思い切った改革(廃止・統合)を考えるべき
- 今後の少子高齢化に合わせ、施設を再編することは大事
- 公共施設を残してほしい気持ちと財政とのバランスが大事なのでは
- 安心・安全などサービスの低下は避けてほしい
- 人口・利用頻度ではなく、地域の実情を考えてほしい
- 全体的に施設が老朽化している。未利用の施設もあるが、なくなるのは寂しい



豊岡地域デザイン懇談会

【施設の見直しについて②】

- 2施設を1施設に統合することが使いにくい理由になる可能性がある
- ハードをつぶす話より、ソフトを充実させる議論が必要

【施設運営・利用について】

- 施設によっては公募し、民間業者に運営を任せてみるのも良いのでは
- インターネットで施設の空き状況が確認でき、予約ができれば便利
- 統合後の学校跡地がどうなるのか気になる。地域活性化に役立つような利用をしてほしい



城崎・港地域デザイン懇談会

【個別施設について】

- 市役所本庁舎と立野庁舎
離れていて不便。一カ所にあった方がよい
- コミュニティセンター
地域活動や会議の拠点、憩いの場として必要
- 図書館
移動図書館で、各地区を回るのも良いのでは
- 健康福祉センター
空きスペースに他施設の機能を移転してもよい



出石地域デザイン懇談会

※掲載している情報は編集時点(1月14日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。